

## 新城市民病院での地域医療研修を終えて

名古屋第二赤十字病院 研修医 2年次

新城市民病院での2週間の地域医療研修をさせていただきました。総合診療科の先生方、外来の看護師さんを始め院内のスタッフの皆様へ感謝いたします。私が地域医療研修で学ぼうと思っていたことは、地域に住む人々が病院の中だけでなく、病院の外でどのように生活し、医療と関わっているのかを学ぶこと、そして自分が医師として患者さんにどのように関わっていくことができるのかを学ぶことでした。

新城市民病院での地域医療研修の特徴は、院外に出て診療所での診療を実践してみたり、訪問看護の看護師さんについて実際の訪問看護の現場を見学したり、老人保健施設に入所している方がどのような一日を過ごしているのかを見学したり、慢性疾患に対して訪問リハビリを行っているのを見学したりと、普段研修している名古屋第二赤十字病院ではできないような体験ができることです。そして、それに携わる看護師さんやMSWの方、リハビリの先生に直接お話しを伺うことができました。普段の病院での研修では、病院の中にいる患者さんについての医学的マネジメントを中心に研修します。新城市民病院での研修を通して、医療・福祉・介護のそれぞれの視点から、目の前にいる患者さんがどのようなサービスを必要としているのかを考えなければならぬと感じました。総合診療科のカンファレンスでは患者さんの医学的プロブレムのみならず、患者さんが退院してからも社会の中でどのように生活していくのかまで考えて議論されます。私は医師として、まずは医学的管理を一人前にできるようにならなければなりません、それだけではなくて患者さんの持つ背景を考え、患者さんにとって最善の策を考えなければならぬと感じました。

総合診療科での研修は、非常に教育的で質の高いものでした。先生方は患者の問診・身体診察を行い、アセスメントをして検査をする、という基本を丁寧に実践されていると思いました。私の診察した患者さんについても、夕方のカンファでもう一度検討し、適切な問診や身体診察ができているか、鑑別を適切に挙げているかについて指導していただきました。また朝の勉強会では毎日1テーマずつ、普段使っている薬についての使い分けなどについて講義をしていただきました。総合診療科で扱う疾患は幅広く、先生方は複数の医学的・社会的プロブレムを抱える患者さんを全人的に診療していました。そして新城に住む患者さんを自分たちで最後まで診ようという情熱をもった、この地域に無くてはならない存在であると感じました。

私は4月より専門科に入って引き続き後期研修を行います。今回新城市民病院で研修をして感じたこと、考えたことを忘れずに、専門科に関して研鑽を積むだけではなく、ジェネラルに患者さんを診るという視点をもった内科医として成長していきたいと思います。

最後になりますが、新城市民病院で研修をさせていただくにあたってお世話になりましたすべての皆様に御礼申し上げます。